



## つがるの収穫開始！今年も収穫遅れに注意しましょう！

### 1. 適期収穫で品質アップ！

今年つがるは7月～8月上旬にかけて高温で推移した影響から、平年に比べ酸度が低い傾向にあります。そのため収穫が遅れると味抜けや軟質化など品質の低下が心配されます。今年も、8月中旬が比較的低温で推移したことから着色は進んだものの、その後は気温が高く着色の進みが停滞気味となっています。

収穫することにより、残ったりんごの着色が進みやすくなるため、着色の進んだものから随時すぐりもぎを行ないましょう！



### ○ポイント！ 収穫はストッポール散布後 25日までに終える！

ストッポール散布後25日を過ぎると、落果するものや導管切れを起こすものが多くなり、品質が急激に低下します。散布25日を経過する前までに収穫を終えれるよう、計画的に作業を進めましょう。

### 2. すず点・すず斑病、黒星病対策(特別散布)

気温の低下とともに黒星病菌の飛散が再開します。秋の感染による被害葉は翌年の感染源になることから、すず点・すず斑病対策とともに、黒星病予防のため『ストライド顆粒水和剤』を9月中旬に散布しましょう。

散布時期	対象病害虫	基準薬剤	1,000ℓあたりの薬量
9月中旬 500L/10a	すず斑・すず点病 <u>黒星病</u>	<u>ストライド</u> 1,500倍	666g(2袋)

### 3. オオタバコガ対策

今年被害が多く見られる園地や昨年被害の見られた園地では、特別散布に下記の剤も加用して散布しましょう。

散布時期	薬剤	1,000ℓあたりの薬量
9月中旬 500L/10a	<u>サムコルフロアブル</u> 5,000倍	200cc(1本)
	または <u>フェニックスフロアブル</u> 4,000倍	250cc(1本)

#### ◎被害の特徴

- ・果実に5mm～10mm程度の深くない大きな穴が1～2個開いている。(中心部まで達していない)
- ・被害果実は、1枝に数個まとまってあることが多い。

### 4. ひろさきふじの葉摘み作業について

気象庁発表の1ヶ月予報では、気温・降水量・日照時間とも平年並みの予報となっています。この時期は日中の気温が高い日も多いため、強い葉摘みを行うと「日ヤケ」を助長します。弱い葉摘みを心がけましょう。

また、着色管理が遅れても色の進みが悪くなる事から、気温の低下(最低気温15度以下の日が現れた頃)とともに、着色管理を計画的に行いましょう。

反射シートは葉摘み終了1～2日後に敷くようにし、温度が上がりにくい白いタイプを敷くようにしましょう！



つる元の葉を摘み取り、新梢の葉を残す。

- 藤崎支店 神 幸人 (090-6220-9279)  
鳴海 清志郎 (080-9335-0829)  
佐藤 琉乃介 (090-7529-5883)
- 和徳支店 佐藤 慎 (090-3753-6333)
- 中央支店 泉 荘 (080-6011-5366)

営農関係のご質問・相談等ございましたら、担当者へ連絡下さい！

## 生産履歴を提出していない方はすみやかに提出しましょう！